

復興の願いを コスモスにこめて

愛媛県立大洲高等学校
おおよ

平

成は自然災害の多い時代でした。「平成30(2018)年7月豪雨」では、西日本を中心に大きな被害がでたのは、記憶に新しいところです。令和2(2020)年度、創立120周年を迎える大洲高等学校は、長年にわたり様々な地域貢献活動を行い、「地域に愛される学校づくり」を目指しています。

7月豪雨で、大洲市は甚大な被害を受けました。生徒たちはさつそく、断水した地域に手洗いのための水を



家庭クラブのみなさん



一枚一枚に思いやりのメッセージが込められた

はたくさんさんのコスモスが、被災して気落ちした地域の方々の心を癒しました。「コスモスの花コンクール」では最高賞を受賞した同校。これからも地域のために役立ちたいと、決意を新たにしています。

「人は人のために 共に生きてこそ 人なり」

東京都 株式会社ヤマト屋

江

戸幕府の御米蔵(浅草御蔵)があったことが地名の由来となっている、東京都台東区・蔵前。この地に、創業なんと明治25年、130年近く続く老舗のバッグメーカー「ヤマト屋」(代表取締役社長・正田誠)があります。

同社には、〃礼儀・規律・清潔・整理・整頓・健康・安全〃の7項目を整え、「環境整備で業界日本一を目指す」という基本方針があり、その一環として30年以上、地域の環境美化に力を入れてきました。

平成22(2010)年、社屋が蔵前に移転してからは、「大江戸清掃隊」と称し、週一回、全社員がごみ拾いや除草、道路についたガムはがしなど丁寧な清掃を行い、地域の会社や住民に大変喜ばれています。

この活動を支えるのは、先代の正田喜代松氏(現…取締役会長)から続く「人は人のために共に生きてこ

そ人なり」という経営理念。清掃活動を通じて、地域への愛着心や人を思いやる心を培い、仕事に活かしてほしいとの願いが込められています。

蔵前は、製造

業や問屋が多くある〃モノづくりの街〃ですが、近年、おしゃれな雑貨店やカフェが増え、散策スポットとしても注目されています。散策の際には、「蔵前を訪れる方に気持ちよく過ごしてもらいたい」と、清掃に汗を流す社員の皆さんに、思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



揃いのハッピーを着て清掃



「小さな親切」実行章を贈呈
(左から)正田喜代松会長、
運動本部小林副代表、正田誠社長